

安全データシート (SDS)

作成・改訂： 2016 年 12 月 01 日

1. 化学品及び会社情報

化学品名称	
製品名	カーボンクロス C-780
会社名	萩原工業株式会社
担当部門	合成樹脂事業部 ターピ一部 品質強化課
住所	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通 1 丁目 4 番地
仕入国	中国製
電話番号	086 (440) 0820
FAX 番号	086 (440) 0818
推奨用途及び使用上の制限	産業資材

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	分類基準に該当しない。
GHS ラベル要素	分類基準に該当しない。
危険性	本製品は危険物に該当しない。
有害性	使用される原料の有害性は報告されていない。
環境影響	野外に露出した場合、鳥等の動物が飲み込み窒息する可能性があるため、廃棄や露出には注意を要す。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物
組成及び成分情報

化学物質名	含有量 (wt%)	化学式又は構造式	酸素指数 (OI)	CAS No.
炭素繊維 (アクリル繊維)	50	—	≥40% GB/T5454/1997	非開示
ガラス繊維 (S102)	50	—	≥32% GB/T5454/1997	非開示

化学物質管理促進法 (PRTTR法)	労働安全衛生法
該当しない	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合	製品形状がシート状であり、通常使用の場合は該当しないが、加工により粉砕等を行った場合は以下の処置を行う。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。 気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。 皮膚を速やかに洗浄すること。 気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合	水と石けんで洗うこと。 気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。 口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤	ドライケミカル、炭酸ガス、アルコフォーム、水噴霧。 本製品は非常に着火しにくく、自己消化性がある。燃焼の際は徐々に
-----	--

特有の消化方法	<p>炭化さし、外からの加熱なくして燃焼し続けない。 熱分解に伴い有毒で可燃性のガス、水蒸気と煙が発生する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 初期の火災には水（霧状水）、粉末消化器などを用いる。 大規模火災の蔡には、泡消化剤などを用いて空気を遮断することが有効である。 周囲の設備などに散水して冷却する。 移動可能な製品は速やかに安全な場所に移す。</p>
消化を行う者の保護	<p>一酸化炭素及び二酸化炭素や黒煙等が発生するので、防火服等に加え防毒マスクを着用することが望ましい。 風上から消化する。</p>

6. 漏出時の措置

人体に対する注意	<p>作業者は適切な保護具（『8. 暴露防止及び保護処置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 溶融物が付着した場合は、大量の水で冷却し、医師の診断を受けること。 外観に変化が見られたり、痛みや刺激が続く場合は直ちに医師の診断を受けること。</p>
環境に対する注意	<p>付近の着火源と成りそうな物を速やかに取り除くこと。 環境中に放出してはならない。</p>
回収	<p>掃き集め空容器等に回収し、指定の廃棄物処分法にて処分する。</p>

7. 取り扱い及び保管上の注意

技術的対策	<p>『8. 暴露防止及び保護処置』に記載の設備的対策を行い、保護具を着用する。</p>
取扱上の注意	<p>取扱中に炭素繊維の粉塵やフライが発生し、皮膚、目や咽頭を刺激することがあるので保護具を着用する。 また電気設備の短絡の原因になるので防護措置が必要である。</p>
保管上の注意	<p>炭素繊維そのものは劣化しないが、梱包材、紙管の変質を防ぐため直射日光や高温多湿の場所での保管は避ける。</p>

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	<p>設定されていない。</p>
許容濃度	<p>設定されていない。</p>
設備対策	<p>粉じん又は加熱溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は局所排気装置を設置する。 装置等に静電気防止処置を行う。</p>
呼吸用保護具	<p>粉塵が発生する加工を伴う場合は防塵マスク、溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は有機ガスマスクを着用する。</p>
保護手袋	<p>軍手の着用が好ましい。</p>
保護眼鏡	<p>粉塵、蒸気、ガス等が発生する場合は安全眼鏡を使用する。</p>
保護衣	<p>長袖作業着が好ましい。</p>

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	<p>固体（黒色織物）</p>
臭い	<p>ほとんど無臭</p>
融点	<p>600℃以上 炭化分解</p>
沸点	<p>製品としての情報なし</p>
引火点	<p>製品としての情報なし</p>
爆発限界	<p>製品としての情報なし</p>
蒸気圧・蒸気密度	<p>製品としての情報なし</p>
揮発性	<p>製品としての情報なし</p>
比重	<p>製品としての情報なし</p>

溶解度	水に不溶
その他溶媒	N,N-Dimethyl formamideに可溶

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性
危険有害反応可能性

通常の実取扱い条件下では安定である。
通常の実取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
燃焼により、一酸化炭素(CO)、NOX等の有害ガスが発生等が発生する恐れがある。

その他

導電性があるので電気系統の短絡の可能性がある。

11. 有害性情報

製品の有害情報

製品としての情報なし

急性毒性

製品としての情報なし

皮膚腐食性・刺激性

製品としての情報なし

目に対する重篤な損傷

または眼刺激性

製品としての情報なし

呼吸器感作性・皮膚感作性

製品としての情報なし

生殖細胞変異原性

製品としての情報なし

発がん性

製品としての情報なし

生殖毒性

製品としての情報なし

特定標的臓器・全身毒性
(単回暴露)

製品としての情報なし

特定標的臓器・全身毒性
(反復暴露)

製品としての情報なし

吸引性呼吸器有害性

製品としての情報なし

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

製品としての情報なし

生態毒性

製品としての情報なし
但し、海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、海洋や水域での投棄、放出はしない。

残留性・分解性

製品としての情報なし

生体蓄積性

製品としての情報なし

土壌中の移動性

製品としての情報なし

水中層有害性

製品としての情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

一般ごみと区別して、専門の産業廃棄物処理業者に委託処分する。
廃棄物分類は「廃プラスチック」に分類される。
焼却処理はしない。炭素繊維は一般ごみの焼却炉では完全には燃えない。
電気集塵機用設置路では、燃え残りの短い繊維により電気短絡事故の原因になる。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

該当しない

海洋汚染物質

該当しない

MARPOL73/78付属書IIおよびIBCコードによりばら積み輸送海洋汚染物質

該当しない

航空規制情報

該当しない

国内規制	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
陸上規制情報	該当しない
緊急時応急処置指針番号	なし
その他	水濡れ、異物混入及び荷崩れ防止措置を行う。 包装を傷付けたり、破袋させるような乱暴な取扱いは厳禁。

15. 適用法令

労働安全衛生法	該当しない
化学物質管理促進法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
化審法	該当しない

16. その他情報

参考文献	JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」 JIS Z 7252:2014「GHSに基づく化学物質等の分類方法」 GHS Ver. 4 (UN) 2011. 7 独立行政法人 製品評価技術機構のGHS分類 化審法データベース（J-CHECK） 原材料メーカーの安全データシート（SDS）
その他	本SDSは、JIS Z 7253:2012に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分でない可能性がありますので、取扱にはご注意ください。 本SDSの記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更して下さい。 また、注意事項等は通常の手扱を対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全策を実施の上、お取り扱い願います。
生産工場	中国 浙江省